



八高新時代!! 君も挑戦、八高で三刀流!!

「知の泉」に「緑の風」吹く

令和6年10月4日(金)

兵庫県立八鹿高等学校

校長 山本 宏治

26

第76回八高祭の総合閉会式で、次の話をしました。

文化祭と体育祭、あわせて三日間の第76回八高祭が閉幕します。文化祭では、演劇、展示、ビデオ等に加えて、有志による発表と模擬店、という、これまでにない取組も行いました。改革や進取の気風を伝統とする八鹿高校の、代表的な学校行事「八高祭」が今後さらに進化することを信じてやみません。

今回も、皆さんのすべての作品を通じて、「時間や空間を容易に飛び越えることができる」という高校生のパワーを強く感じました。現実とバーチャル、現在と過去を縦横無尽にかけめぐる八高生の soul が、遺憾なく発揮された文化祭でした。

本日の体育祭もまた、選手宣誓での「競い合いながらも相手への敬意(リスペクト)を忘れない」というメッセージ、そして、振り返れば4月の対面式で当時の生徒自治会長さんが新入生に語ってくれた「身の回りで起こる全てのことを全力で楽しむこと」「何事にも前向きに取り組み、楽しもうとする姿勢があれば大抵のことは乗り越えられるはず」という言葉が、そのまま表現された一日でした。八鹿高校に勤める職員として、たいへん誇らしく思います。しっかり切り替えて、明日からの高校生活に臨んでください。